

シラバス (介護職員基礎研修)

指定番号 _____ 課程 介護職員基礎研修課程
 法人・団体名 株式会社 松島紙店
 課程編成責任者 小又幸成

研修区分 標準型(500時間) 実習免除型(300時間) 科目免除型(I)(200時間) 科目実習免除型(I)(60時間)
 科目免除型(II)(350時間) 科目実習免除型(II)(150時間) 演習及び実習(実習事業者のみ)

科目番号・科目名	(9) 生活支援のためのアセスメントと計画			
指導目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアプランのアセスメント、作成方法を学び、生活全体をプランする「生活プラン」を理解する。 ・アセスメントからケアプラン作成の流れと居宅サービス計画との関係を理解する。 ・ケアプランに基づいたサービスの流れと、事業所と職種間の連携、関係機関やボランティアとの連携について理解し、介護の現場のリーダーとしての役割を理解する。 			
項目番号・項目名	時間数	うち 通学 時間数	うち 通信 時間数	目標・講義内容・演習の実施方法・通信学習課題の概要等 (別紙でも可)
① ケアプランとサービス計画に関する基礎的理解	12	12	0	《目標》アセスメント、ケアプラン作成、各サービス計画の関係や流れを理解し、生活全体を支援するという観点から、どのような援助が必要かを考えることができる。 《講義内容》 ・ケアプラン、アセスメントと生活支援に関する理解 ・居宅サービス計画、各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画)とサービスの関係
② ケアプランとサービス計画の作成手順に関する基礎的理解	12	12	0	《目標》「生活全体をアセスメントする」ことやニーズの把握の仕方について事例に基づいて説明できる。 ケアマネジメントのプロセスとケアプランの内容、作成手順について説明できる。 《講義内容》 ・アセスメントとニーズの把握 ・居宅ケアプランの作成 ・ICFのツールの使い方、実践の方法 ・各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画)の作成
③ ケアプラン・サービスの提供の実際+地域生活支援のための地域環境のアセスメント技術と留意点	12	12	0	《目標》ICFの視点を生かしたケアプランの作成ポイント、ツールの使い方、既存ツールへの応用の仕方等について、事例に基づいて説明できる。 各サービス計画(訪問介護計画、通所介護計画等)の位置づけ、意義、及び作成手順について説明できる。 ケアプラン等に基づいたサービスの流れにおける、介護職員の役割、及び事業所、職種間の連携のあり方について、事例に基づいて説明できる。 《講義内容》 ・ケアプラン・サービス計画に基づいたモニタリングと記録 ・介護職のアセスメントと連携、ケアプラン・サービス計画の見直し
修了評価				
(合計時間数)	36	36		

※ 通学時間数には通学形式で講義・演習を実施する時間数、通信時間数には自宅学習にあてる時間数を記入すること。
 ※ いくつかの項目をまとめて、時間数を設定しても差し支えない。
 ※ 各項目について、通学時間数を0にすることはできない。なお、通信時間数については別紙4に定める時間以内とすること。
 ※ 通信学習を実施する項目については、**通信学習課題**を提示すること。(既に提示したものを除く。)